

## ◎景気ウォッチャー調査[2023年12月]

### 2023年12月の中国地域調査結果の概況

#### ■景気の現状に対する評価

現在の景気を3か月前と比較するとその評価は次のとおりであった。

景気の現状判断D I (合計)は、前月を0.6ポイント上回る50.3となった。

分野別にみると、家計動向関連は、「良くなっている」「やや良くなっている」の回答の割合が減少したため、前月を0.1ポイント下回る48.6となった。

企業動向関連は、「やや悪くなっている」の回答の割合が減少し、「地元自動車メーカーが好調であるため、忙しい。」(輸送用機械器具製造業)、「今後の資材高騰や納期遅延の危機感はあるものの、世間にインフレの共通認識が定着したため、価格転嫁がやりやすくなった。」(建設業)等の理由から、「良くなっている」の回答の割合が増加したため、前月を2.4ポイント上回る56.1となった。

雇用関連は、「やや悪くなっている」の回答の割合が減少し、「機械装置製造会社において、これまで年齢制限を設けていたが、上限年齢を撤廃し広く募集を掛け始めた。また、自動機製造会社においても、所在地が辺りな場所にあることから、フルリモートでの勤務を可能とし全国から人を探すことに切り替えた。」(民間職業紹介機関)、「人材紹介において、求職者の登録者数が前月比106%、年始や年度初めでの転職希望者が微増となっている。」(民間職業紹介機関)等の理由から、「やや良くなっている」の回答の割合が増加したため、前月を1.5ポイント上回る50.0となった。

	12月	11月	前月差
合計	50.3	49.7	0.6
家計動向関連	48.6	48.7	-0.1
企業動向関連	56.1	53.7	2.4
雇用関連 (参考値)	50.0	48.5	1.5

#### ■景気の先行きに対する評価

現在より3か月先の景気の先行きに対する評価は次のとおりであった。

景気の先行き判断D I (合計)は、前月を0.3ポイント下回る49.2となった。

分野別にみると、家計動向関連は、「良くなる」「やや良くなる」の回答の割合が減少し、「物価の上昇による節約のため、買上点数の減少が続き、売上も減少する。」(スーパー)、「大手自動車メーカーの不正問題の影響が少なからず発生する。」(乗用車販売店)等の理由から、「やや悪くなる」「悪くなる」の回答の割合が増加したため、前月を2.1ポイント下回る47.0となった。

企業動向関連は、「やや悪くなる」の回答の割合が減少し、「来月、新型車が登場するため忙しくなる。」(輸送用機械器具製造業)、「年始は3月決算に向けて仕事の引き合いが増えており、明るい兆しがある。」(輸送業)等の理由から、「良くなる」「やや良くなる」の回答の割合が増加したため、前月を0.8ポイント上回る53.0となった。

雇用関連は、「やや悪くなる」の回答の割合が減少し、「12月に入り、例年より遅れて季節繁忙求人が入りつつあり、今後受注状況は復調していく見込みである。」(人材派遣会社)、「引き続き新年度に向けて転職活動が活発化することが予想される。」(民間職業紹介機関)等の理由から、「やや良くなる」の回答の割合が増加したため、前月を9.2ポイント上回る56.3となった。

	12月	11月	前月差
合計	49.2	49.5	-0.3
家計動向関連	47.0	49.1	-2.1
企業動向関連	53.0	52.2	0.8
雇用関連 (参考値)	56.3	47.1	9.2